

第18回(平成25年度)文化財修理保存等助成事業 助成先一覧

| | 種別 | 文化財名称 | 指定 | 事業名 | 事業主体 | 市町 | 概要 |
|----|---------|--------------------|----|-----------------------------|--------------|------|---|
| 1 | 美術工芸品 | 小山町坂下区十王堂十王図 | 町 | 坂下区十王堂図修復事業 | 坂下区 | 小山町 | 制作年代は文化元年(1804)。全10幅。紙本着色、紙継ぎ無し、表装後補。損傷が激しいので修復を行う。 |
| 2 | 建造物 | 霊山寺仁王門 | 国 | 霊山寺仁王門保存修理事業 | 霊山寺 | 静岡市 | 平面積22,532㎡ 軒面積81,006㎡ 屋根面積162,44㎡ 三間一戸八脚門、寄棟造、茅葺。永正13年(1516)に建立とされる。屋根葺替は軒付、平葺、棟積みとも前面葺き替える。 |
| 3 | 無形民俗文化財 | 梅ヶ島の舞 | 市 | 梅ヶ島の舞舞台保存修理事業 | 梅ヶ島新田神楽保存会 | 静岡市 | 梅ヶ島の舞の主な舞台となる稻荷神社が老朽化したため、縁側・基礎部の部材取替え、格子戸・板戸・屋根の改修を行う。 |
| 4 | 美術工芸品 | 木造伝大日如来坐像 | 市 | 建穂観音堂伝大日如来坐像保存修理事業 | 建穂町内会 | 静岡市 | 12世紀後半の制作で、伝承では大日如来とされているが、宝冠阿弥陀如来に付随する四親近菩薩のひとつと考えられる。矧ぎ目の緩み等の傷みが著しいので修理を行う。 |
| 5 | 無形民俗文化財 | 清沢の神楽 | 県 | 清沢神楽保存伝承事業 | 清沢神楽保存会 | 静岡市 | 安倍川、大井川、瀬戸川流域に分布する駿河神楽のひとつ。神楽に使用する太鼓が老朽化し、伝承に支障をきたしているため新調する。 |
| 6 | 史跡 | 朝鮮通信使遺跡(興津清見寺境内) | 国 | 朝鮮通信使遺跡史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業 | 清見寺 | 静岡市 | 平成23年度からの継続事業。25年で終了。支障木伐採工事。平成23年の台風で発生した倒木や危険木をワイヤー等で吊りながら枝打ちから小割、搬出までを行う。 |
| 7 | 名勝 | 臨濟寺庭園 | 国 | 臨濟寺庭園史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業 | 臨濟寺 | 静岡市 | 国指定名勝としての価値を損なうことなく後世に伝えるための保存修理。水系整備(下段・滝の修復工事)を中心として、仕上げの庭園整備を行う。 |
| 8 | 美術工芸品 | 木造文殊菩薩坐像 | 市 | 鉄舟寺木造文殊菩薩坐像保存修理事業 | 鉄舟寺 | 静岡市 | 像高:53cm 構造:寄木造 平安時代後半、12世紀頃の制作と考えられる。矧ぎ目の緩み等の傷みが著しいので修理を行う。 |
| 9 | 美術工芸品 | 革柄蠟色塗鞘刀ほか | 国 | 革柄蠟色塗鞘刀ほか美術工芸品保存活用整備事業 | 久能山東照宮 | 静岡市 | 平成24年度からの継続事業。収蔵庫等の内部の空調設備改修工、消火設備のハロンガス・機器改修、指定文化財等の移動・運搬、屋根改修工、外壁改修工を行う。 |
| 10 | 建造物 | 神部神社浅間神社本殿ほか25棟建造物 | 国 | 神部・浅間神社本殿ほか25棟建造物環境保全事業 | 神部・浅間・大蔵御祖神社 | 静岡市 | 神部神社、浅間神社、麓山神社、八千戈神社、少彦名神社の周辺は危険木等が多数あり、倒木などにより社殿に被害が発生することも危惧されるので環境保全事業を行う。 |
| 11 | 建造物 | 西山寺 本堂 | 県 | 西山寺本堂建造物保存修理事業 | 西山寺 | 牧之原市 | 木造方形造、茅葺、間口4.5m、奥行6.4m 天長2年(825)開祖と伝えられ、寛永13年(1636)に再建され、正徳2年(1712)に移転。平成8年に茅葺屋根の改修工事をしたが、屋根の厚みが全体に薄くなっている。 |
| 12 | 有形民俗文化財 | 平尾八幡宮寛政七年神輿 | 市 | 平尾八幡宮寛政七年神輿保存修理事業 | 平尾八幡宮 | 菊川市 | 平成25年度から26年度までの事業。建立年代寛政7年(1795) 漆塗金銅装鳳簷。木工事で各部位を解体し、金物工事、漆工を行う。 |
| 13 | 美術工芸品 | 秋鹿朝重奉納絵馬板絵著色騎牛人物図 | 市 | 絵馬の修理、絵馬の保存箱の作成 | 府八幡宮 | 磐田市 | 延宝5年(1677)中泉代官で府八幡宮の神主を務めた秋鹿内匠朝重が奉納した絵馬6面のうち1面。江戸時代初期の絵馬は県内でも少なく、奉納年、奉納者がはっきりしている。剥離止め、板割れ修理、保存箱の作成を行う。 |
| 14 | 美術工芸品 | 秋鹿家所蔵 軍扇 | — | 軍扇の修理 | 秋鹿真帆子 | 磐田市 | 縦36.4cm・横3cm・厚さ2.6cm 葵の紋の入った錦の袋に納められている。本体にも葵の紋が入り「遠州住人道忠」と書かれている。家康から下賜されたものと思われ、制作年代は17世紀前半ではないかともいわれている。 |
| 15 | 建造物 | 瑞雲院山門 | 市 | 瑞雲院山門建造物保存修理事業 | 瑞雲院 | 浜松市 | 山門は寛延3年(1750)に建立、安政6年(1859)草葺屋根を入母屋瓦葺に変更されている。老朽化による建物傾斜や部材の腐朽が顕著となったので、調査・設計に基づき仮設工事・解体工事等を行う。 |
| 16 | 美術工芸品 | 木造地藏菩薩立像 | 国 | 木造地藏菩薩立像美術工芸品保存修理事業 | 岩水寺 | 浜松市 | 平成24年度からの継続事業。檜材寄木造。本軀、光背、台座のいずれも経年劣化による損傷が著しく、適正な保存管理が困難であるため修理を行う。 |
| 17 | 建造物 | 東林寺山門 | 市 | 東林寺山門建造物保存修理事業 | 東林寺 | 浜松市 | 移築から150年を経過し、老朽化による建物傾斜や屋根部の腐朽が顕著に見受けられることから保存修理を実施する。調査・設計に基づき仮設工事、解体工事等を行う。 |
| 18 | 建造物 | 宝林寺仏殿・方丈 | 国 | 宝林寺仏殿・方丈指定文化財管理事業 | 宝林寺 | 浜松市 | 明僧独湛により寛文4年(1664)に開創された寺。方丈は正徳6年の建立で、黄檗宗特有の様式を示す建築で、貴重である。防災設備の保守点検を行う。自動火災報知設備、消火設備、避雷設備、非常通報装置 |
| 19 | 建造物 | 妙立寺山門 | 市 | 妙立寺山門保存修理事業 | 妙立寺 | 湖西市 | 平成24,25年度継続事業。寛文5年(1665)建立の山門。傾きが著しく、屋根瓦の葺き緩みも見受けられるため解体修理を行う。礎石・礎盤の不陸・傾斜は正を行い、軸部架構材・扉の弛緩・不陸の是正・損傷部材の修理を行う。 |
| 20 | 建造物 | 本興寺奥書院 | 県 | 本興寺奥書院建造物保存修理事業 | 本興寺 | 湖西市 | 奥書院は延宝2年(1674)に三河吉田城より移築。江戸時代初期の書院建築。木造平屋建寄棟造・茅葺。屋根が経年劣化により葺き材が欠落するほど損傷が顕著。屋根葺替を主とする部分修理工事を行う。 |